

氏名	原 田 寛
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	甲 第 499 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和55年3月31日
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学 位 論 文 題 目	呼吸器アレルギーにおける肺の組織学的研究 第1編 アレルギー性呼吸疾患における生検肺の組織学的検討 第2編 実験的感作における肺の組織学的検討
論 文 審 査 委 員	教授 大藤 眞 教授 長島 秀夫 教授 小川 勝士

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

気管支喘息および過敏性肺臓炎の発症機序を解明する一手段として、ヒトおよび動物モデルの肺の組織学的検討を行なった。

第1編では、24例の気管支喘息症例と5例の過敏性肺臓炎症例を対象として、経気管支鏡的に肺胞細気管支領域と区域気管支粘膜から組織片を採取して組織学的検討を加えた。気管支喘息症例では、さらにPPDやカンジダに対する皮内反応、沈降抗体、血清1gE値、肺機能などの諸検査をおこない、肺組織変化との比較検討をおこなった。

第2編では、カンジダおよびアスペルギルス抗原を用いた過敏性肺臓炎の動物モデルを作成し、adjuvantの有無、抗原の種類および濃度による影響等を中心に組織学的検討をおこなった。また卵白アルブミン抗原による実験喘息モデルを作成して、その肺組織像に検討を加えた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は呼吸器アレルギーにおける肺の組織所見について実験的ならびに臨床的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかったこの方面の研究、とくに臨床検査との関係、抗原注射条件との関係などについて重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。